

12 月 22 日：VN 指数は横ばいで推移 (VN-Index +0.06%)

- VN 指数は昨日の引けにかけての上昇の動きを引き継ぐ形で、始まりこそは堅調なスタートを切った。流動性に関しても昨日より幾分は増して推移した。
- ただ、その後の買い方の勢いはつかず、取引開始 30 分後からは下落トレンドとなり前引けはマイナスとなった。
- 後場が開始すると、買い方は徐々に増した。しかし、相場の方向感が定まらずに前日終値水準を挟んだもみあいが続いたのち、最終的には前日よりプラスで終了した。
- 上昇したセクターと下落したセクターの数もほぼ同数だった。上昇が目立ったのは通信や自動車・部品セクターで、下落が目立ったのは保険セクターだった。
- 197 銘柄が上昇、284 銘柄が下落、88 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は依然として低迷し、前日比 8%増の 12.3 兆ドンとなった。

VN30 指数は変わらず (VN-30 0.00%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 9 銘柄、下落が 14 銘柄、変わらずが 7 銘柄だった。
- 上昇した銘柄数は下落した銘柄数に劣ったものの、STB (+2.26%) や GVR (+1.76%) などが大きく上昇し、指数下落を支えた。
- 一方、BVH (-1.14%) と MSN (-1.10%) などが下落した。

セクター・個別株の動き

- STB (+2.26%) は昨日、設立 32 周年を記念する式典を開催し、2023 年度の業績を推定。税引前の連結利益は 9 兆 5000 億ドン以上に達し、前年比で 50%増加することを見込んだ。不良債権比率も 2%に抑制されており、投資家は好感。
- GVR (+1.76%)、Becamex IDC、VSIP の工業団地開発企業 3 社は、カインホア省における 2800 ヘクタール超の 2 つのプロジェクト開発提案書を発行した。

- 外国人投資家は 5070 億ドルの売り越しを記録した。昨日に続き、HPG の売り越し額が最も多かった。一方、MWG などが買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。